

施設における看取りを考える ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは

【公開講座】

講師 日本福祉大学
教授 北村 育子 氏

- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは
- ACP をとりいれた施設での看取りを考える
- 自分本位のエンド・オブ・ライフケアのためにできること

※ ACP の考え方を理解したうえで、施設における看取りケアについてそれぞれの立場からどのようにかかわっていくかを一緒に考えていきます。

【研修内容】

自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と呼びます。

今回の研修では改めて ACP について学び、施設における看取りに関して消極的でない利用者の意思を尊重したケアについてどのようなスタンスやかかわり方をもって臨んでいくか考えていきます。

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授

《経歴》

大阪市役所職員、社会福祉法人勤務を経て

1998 年～熊本学園大学社会福祉学部

2001 年～日本福祉大学社会福祉学部

その他 NPO 法人太子たすけあいコスモス、大阪家裁堺支部、
ファミリー相談室 などで活動

《研究テーマ》

高齢者を対象としたサービスの質に関すること

スタッフの支援、事業所・その職員と利用者家族・地域等との関係、など
認知症高齢者支援に関すること